



Der Brückenpfeiler

2025 年 7 月



Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です

公益財団法人 日独協会 情報紙

Japanisch-Deutsche Gesellschaft

2025 年 7 月 1 日発行（不定期発行）

編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館

Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2

TEL 03-5368-2326/FAX 03-5368-2065

Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : jdj@jdj.or.jp

日独協会からのお知らせ

* 2025 年度 ドイツ語講習会上半期コース

4 月から 9 月末までの上半期コースが開講中です。2 か月毎にテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」クラスは、1 か月単位で参加できます。また「精読×音読道場～DW Top-Thema を読もう～」も 1 か月単位の受講が可能です。途中入講、体験受講などについては事務局にご相談ください。

* ドイツ語夏期講習会開催

7 月末から 8 月半ばにかけて、ドイツ語の短期講習会を開催いたします。毎年恒例の講習会で、短期間で効率よく力を強化したり、あるテーマについて特に掘り下げたりします。どのクラスも 1 日単発から 5 日間程度の短期で、ほとんどがオンラインでの開催となる予定です。詳細は決まり次第、協会ウェブサイトにご案内いたします。

* セルマ・バーナートさんの研修

セルマさんの研修は、当初 9 月末までを予定しておりましたが、オランダでの大学院進学のため 8 月末までとなりました。8 月の後半は事務局の夏休みとなりますため、協会での研修は実質 8 月半ばまでとなります。その後は 10 月からメラニー・シェーファーさんが研修を行う予定です。

* 会報誌 Die Brücke への投稿募集！

会報誌では今年、以下の 2 つのテーマで投稿を募集しています。

- ① ベルリンの壁崩壊と統一に関する思い出・エピソード
- ② 現在開催中の大阪・関西万博を含むこれまでの万博での日独に関する思い出・エピソード

原稿は複数号に分けて掲載の予定です。投稿は 300 文字以内で協会のメールアドレス jdj@jdj.or.jp 宛てに、または右の QR コードを読み取った先の専用投稿サイトからお送りください（文字数についてはご相談いただくことも可能です）。

メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください。（誌上での掲載名はイニシアルでも可）。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。



* 事務局の夏休み

8 月 18 日(月)から 30 日(土)まで事務局は夏休みとなり、業務取扱もお休みいたします。

ドイツ語講習会 2025 年度上半期コース

月～日曜日

Deutschkurse in der JDG, April 2025 - September 2025
jeden Mo.-So.**ドイツ時事問題研究会 第 110 回**

5/17 (土) 15:00～17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (110)

Datum: Sa., 17. 5. 25, 15.00-17.00

今月の主なトピックスは、①中国で進むドイツ自動車メーカーの現地化、②連邦憲法擁護庁が AfD について「確証のある極右性」を認定、③連邦議会がメルツ氏を 2 回目の投票で首相に選出、④新内閣の顔ぶれと注目度、⑤変化の兆しがみられる対イスラエル政策などを取りあげ、背景などを報告した。このうち、②については認定に至る経緯や根拠を概説し、行政と司法の関係などについて活発な議論を行った。③については各大臣の主な経歴やマスコミが報じる期待度など紹介し、併せて、前政権の主な閣僚を例に、ドイツの政治家の進路の一端を紹介した。

(以上：伊崎 捷治)

「今月のテーマ」は「トランプ関税ードイツ産業への影響」で、大きな影響を懸念するドイツの対米貿易依存度、主な対米輸出品目である医薬品、航空・宇宙機器、光学・写真機器、自動車、機械などの現況、ドイツを含む各国の貿易政策を担う EU について想定される対抗措置などについて解説した。

(以上：新井 俊三)

シュプラッハトレッフ (日独言語交換会)

5/17 (土) 19:00～20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 17. 5. 25, 19.00-20.40

今回の Sprachtreff では、5 月の祝日について話しました。この時期は祝日が多いので、日本人の参加者が憲法記念日や子どもの日など、ゴールデンウィークに関する色々な祝日や習慣を紹介して、鯉のぼりの写真も見せてくれました。

また、ドイツのキリスト昇天祭というキリスト教の祝日についても話して、参加者の故郷の珍しい祭りについて学びました。というのも、2 つ目のテーマが「故郷」だったからです。

今回は、北海道、長野、フランクフルト、カールスルーエなど、様々な地域出身の方達に加えて、エルサルバドル出身で現在はドイツに住んでいる方もいて、エルサルバドルについてもたくさん学ぶことができました。

皆さんの故郷の特産品や有名な場所を知ることができ、とても嬉しかったです。(セルマ・バーナート)

独逸塾

5/19 (月) 19:00～21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 19. 5. 25, 19.00-21.00

参加者 17 名。

1. テキストは 2025 年 3 月 2 日 WirtschaftsWoche 誌より „Rettet der EU-Deal die deutsche Wirtschaft, Herr Südekum?“

(1) 循環経済の重要性

資源依存、特に中国への依存を減らすため、EU 内で既存製品を再利用する循環経済が必要。2030 年までに EU での原材料の 24% は循環経済で使用されるべきである。

(2) Buy European で米中に対抗

自国産業保護政策に戸惑う必要はない。

(3) 財政政策と気候投資

必要な気候投資 (年 30～50 億ユーロ) を行うべき。

2. テキストは 2025 年 2 月 15 日 SPIEGEL 誌より „Die Beschleunigung der »Kill Chain«“

(1) 防衛産業への AI の利用

AI の投入により戦争が変化し、世界の勢力関係に変化を及ぼしている。ドイツの防衛産業のスタートアップ企業が既存の戦車、ロケットを製造する大手企業に挑戦している。

A) ドイツ政府は来年 4,800 人の兵を AI 機能を装備してリトアニアに派遣することを決定した。

B) AI を装備したスタートアップ企業 Anduril、Helsing、Quantum-Systems は既存大手企業 Rheinmetall 等に挑戦し、予算分捕り合戦となっている。

C) ドイツ政府は防衛費として 1,000 億ユーロの特別基金を創設した。

D) ドイツ政府は国防軍のサイバーおよび情報技術を担当する Chief Information Officer を創設した。ドイツ語の表現をめぐり活発に議論が交わされた。

(森永 成一郎)

新入会員交流会

5/25 (日) 15:00～17:00

日独協会セミナールーム

Treffen für die neuen Mitglieder zusammen mit Deutschesbrot

Datum: So., 25. 5. 25, 15.00-17.00

Ort: Seminarraum der JDG

このイベントのレポートは Die Brücke 8 月号に掲載予定です。

懇談会サロン

テーマ「バウムクーヘンの過去・現在・未来」

5/26 (月) 18:00～19:30

日独協会セミナールーム

Gesprächssalon

Thema: „Die Vergangenheit, Gegenwart und Zukunft des Baumkuchens“

Datum: Mo., 26. 5. 25, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG

講師：河本 英雄氏 (株式会社ユーハイム 代表取締役社長)

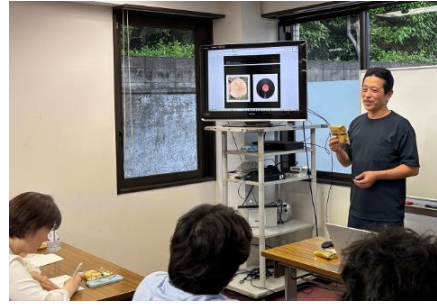
参加者 24 名。

第一次世界大戦の捕虜として来日したドイツ人菓子職人カール・ユーハイムによって持ち込まれたバウムクーヘン。ドイツでは日本ほど一般的ではなく、日本で初めて食べるというドイツ人も多い。バウムクーヘン

ンの名称・歴史的起源、日本とドイツの違い、伝統的な職人技術と食品添加物不使用へのこだわり、AI やクラウド技術による技術伝承・短期修行・事業継続支援、バウムクーヘン市場の活性化、女性職人や業界課題、世界平和への理念など多角的に解説して頂いた。

伝統と革新の融合による菓子業界の未来像もご提示頂いた。日本では年輪の形状からその名が広まったが、ドイツでは道具の名前に由来しており、年輪は意識されていないという。ドイツではバウムクーヘンは職人技術の象徴であり、伝統を守るために膨張剤の使用が禁じられている。講演後活発な質疑応答があり、

参加者の関心の高さがうかがえた。席も満席で、参加者の感想も大変好評であった。(木田 宏海)



※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

Veranstaltungen

催物案内

(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報はイベント開催に関するお手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はウェブサイトでもご覧頂けます。▶ <http://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail : jdgc@jdgc.or.jp Tel. : 03-5368-2326 (月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

◇(対面+オンライン)冠飾句これくしょん 一冠これー ドイツ語の「高級文法」を愛でる会◇

登壇者：柳原 伸洋先生(東京女子大学・歴史文化専攻教授)、ニーナ先生(協会ドイツ語講師、フリーランスドイツ語コーチ)、Matthias Wittig 先生(獨協大学・外国語学部・ドイツ語学科准教授)

日時：2025 年 7 月 13 日(日) 13:00～16:00

会場：日独協会セミナールーム (対面+オンライン(ZOOM)のハイフレックス式(見逃し配信あり))

会費：日独協会会員・ドイツ語受講生：3,000 円 / 一般：4,000 円

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

「冠飾句」は名詞の前に長い修飾句が「冠」のように付く、ドイツ語独特の文法です。日常的にはあまり使わないものですが、これを理解するとドイツ語の「キモ」も習得できてしまいます。今回はさまざまな文献の冠飾句を読んだり、自らも作成して皆さんと一緒に楽しくこの高級文法を味わいたいと思います。

◇(対面)Spielrunde ～ゲームもドイツ語も楽しんじゃおう！～◇

日時：2025 年 7 月 18 日(金) 18:30～20:30

会場：日独協会セミナールーム

会費：(公財)日独協会会員：1,500 円 / 一般：2,000 円 (ソフトドリンク・おつまみ付)

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

当協会のドイツ語講師で、「ドイツ語だいすきクラブ」を主宰するニーナ先生と一緒に、遊びながら楽しくドイツ語に親しむ「ゲーム de 交流会」を開催します。今回は、ことば遊びを中心としたゲームに挑戦！ドイツ語のレベルに応じて柔軟にグループ分けしますので、ドイツ語初心者の方も安心してご参加いただけます。ドイツ語と日本語の両言語を使いながら進めますので、語彙や表現を楽しく身につけられるかも？ぜひお気軽にご参加ください。

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2025 年 7 月 19 日(土) 15:00～17:00 申込期限：開催 2 日前まで 会費：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ(複数可)を決定 定員：20 名

世話人：伊崎 捷治 理事、新井 俊三 氏

申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel. : 080-1137-5111 E-mail : [isakis\(a\)snow.ocn.ne.jp](mailto:isakis(a)snow.ocn.ne.jp) ※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて議論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツが EU の強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを探りあげていきます。

◇Sprachtreff (シュプラッハトレッフ) ◇

日時：2025 年 7 月 19 日（土）日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 12:00～13:40

会費：（公財）日独協会会員：無料 / 一般：2,000 円 定員：50 名程度

担当：セルマ・バーナートさん、芦野 淳子さん

参加条件：語学交換を積極的に楽しみたい方（目安レベル：A1.2 以上）

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で 40 分程度ずつおしゃべりをします。（上級はテーマと言語の時間指定はありません）。また、B1 レベルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2025 年 7 月 21 日（月）19:00～21:00 （18:30 からオンライン上で開場）

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：森永 成一郎 氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール（jdg@jdg.or.jp）でお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向けで（新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう）、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇（対面）懇談会サロン テーマ「今アーレントから読むことの意味」◇

講師：矢野 久美子先生（フェリス学院大学教授）

日時：2025 年 7 月 28 日（月）18:00～19:30 申込期限：7 月 25 日（金）

会場：日独協会事務所内セミナールーム 定員：24 名

会費：（公財）日独協会会員 500 円 一般 1,000 円 ※ 当日集金いたします。

世話人：佐藤 勝彦 理事

申込み：お名前、（公財）日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：[s-kmtaym\(a\)nifty.com](mailto:s-kmtaym(a)nifty.com) ※ (a)は@に書き換えて下さい。

2024 年 1 月に刊行された矢野先生の『アーレントから読む』を振り返りつつ、それ以後の世界状況を踏まえて、今アーレントから何を読み取り、出来事にどう向き合うべきか、現時点の先生の考えをお聞かせいただきます。

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
2. Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Vorraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe nach bearbeitet.
3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).

E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14.00～17.00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, der 19. Juli 2025, 12.00-13.40 Uhr deutscher Zeit (19.00-20.40 Uhr japanischer Zeit)

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50 TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn Ihr bereits in der Lage seid, Euch aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht habt. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf Eure Teilnahme.